

活力ある海業が、人と文化を紡ぎ、多様な産業と共鳴するまち 那覇

4th Naha City Fisheries Promotion Basic Plan

第4次那覇市 水産業振興基本計画

[概要版]

海

漁港環境の基盤を整える

漁港環境の向上を通じて
人と環境にやさしい現場へ

紡



次の担い手を育てる
地域に誇られる水産業を
若い世代が仕事に選ぶ環境へ

多様な産業と繋げる

水産業をきっかけに、
多様な産業が共に発展する好循環を

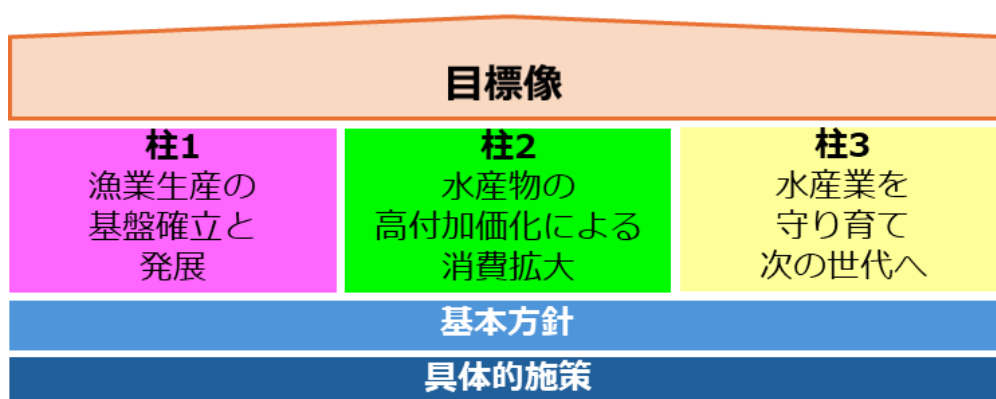
共

1 目標像

令和8年度から令和17年度までの10年間にわたる本市水産業の発展に向けた羅針盤として、水産業を中心に人々の交流や本市の文化を紡ぎながら、多様な産業と連携し、地域全体の活力を高めていく思いを込めて設定した。

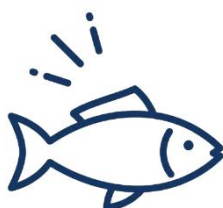
活力ある海業が、人と文化を紡ぎ、 多様な産業と共鳴するまち 那覇

2 目標像を支える3つの柱



柱1：漁業生産の基盤確立と発展

- ・計画的な施設修繕、更新等による生産基盤の向上。
- ・次世代に対応した設備や技術の導入を推進。
- ・ブルーカーボンや陸上養殖などの調査・研究を通じて、環境に配慮した持続可能な漁業基盤の確立を推進。



柱2：水産物の高付加価値化による消費拡大

- ・「都市型漁港」の強みを活かした水産業の高付加価値化。
- ・「なはまぐる」のブランド確立及び販売店舗の拡大による地産地消の推進に加え、市民・県民・観光客への魅力発信を通じた市場拡大。



柱3：水産業を守り育て次の世代へ

- ・漁業体験、水産教室、学校給食等を通じて、若者や子どもが水産業への関心を深める機会を創出し、次代を担う人材の確保。
- ・現場の経験・知識の継承に加え、経営力の向上を支援することによる、安定的かつ効率的な経営基盤の構築。

3 KGI（重要目標達成指標）の概要

（1）誇りと共鳴。生産基盤の発展



（2）生産力向上と地域経済の牽引

KGI4 市全体の水揚量と水揚額

水揚量：5,082 トン → **6,100 トン**

水揚額：36 億円 → **50 億円**

KGI5 まぐろ類の水揚量と水揚額

まぐろ類水揚量：4,238 トン → **5,090 トン**

まぐろ類水揚額：28 億円 → **40 億円**



（3）水産物の消費拡大と泊漁港エリアの賑わい創出

KGI6、7 世帯あたりの消費支出額



魚介類 32,570 円/年



43,000 円/年

マグロ 3,162 円/年



6,000 円/年

KGI8

泊漁港エリア来訪者



推定 100 万人/年



125 万人/年

4 施策体系一覧表



5 具体的施策 全体像

柱1：漁業生産の基盤確立と発展



獲る・つくる

資源回復
生産力向上
漁業基盤の機能向上

No.1

低環境負荷型資源管理・ブルーカーボンの推進
(産卵場等の設置、種苗放流、ブルーカーボンプレジット認証)

No.2

効率的操業による漁業生産性の向上

(支援メニューの積極活用、県海洋水産技術センター連携)

No.3

スマート水産技術の普及と先進機器の活用促進

(勉強会等の実施、先進的な機器の普及促進)

No.4

次世代型養殖業の確立に向けた実証の実施

(ヒトエグサ養殖、陸上養殖技術の研究拠点構築)

No.5

産学官連携による新たな漁業モデル創出

(多様な主体との連携体制の構築と課題解決への取組)

No.6

漁業基盤のスマート化と周辺環境整備の促進

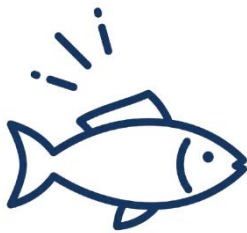
(荷捌き施設・製氷施設・冷凍冷蔵設備の改修、更新等)

No.7

泊漁港エリアの機能高度化と戦略的な再整備

(「泊漁港等整備基本計画」に基づく各関係団体との連携・整備)

柱2：水産物の高付加価値化による消費拡大



稼ぐ・広げる

販路拡大
ブランド化
高付加価値化
観光との連携
賑わい創出
水産物のPR

No.8

「なはまぐろ」ブランドの確立と販売店舗拡大

(ロゴ・キャッチコピー展開、取扱店舗の拡充)

No.9

水産物の消費拡大と「なはまぐろ」の付加価値向上

(「なはまぐろ」コンセプトの明確化、関係団体によるフェア開催)

No.10

「なはまぐろ」上位ブランドの確立と市場価値向上

(最高級品質の明確化、運営管理体制の構築と市場価格向上)

No.11

インバウンド需要拡大に向けた多言語対応等

(多言語・デジタル情報提供ツールの導入)

No.12

消費者ニーズを反映した商品開発と六次産業化推進

(加工品や贈答品・土産品の開発、給食食材としての安定供給)

No.13

副産物・未利用資源の商品化

(シビマグロ・シイラ等の未利用資源を活用した土産品開発)

No.14

信頼性確保を目指したトレーサビリティ実証

(産地から販売までの履歴を可視化するシステム導入に向けた実証)

No.15

地域水産物 PR 戦略の強化

(朝市等のイベント、SNS 発信、観光関連事業者連携)

No.16

「泊いゆまち」と「なはまぐろ市場」施設環境の整備

(飲食・休憩スペースの増設、本市の特色を生かしたフォトスポット設置)

柱3：水産業を守り育て次の世代へ



守る・育てる

人材育成
産業のPR
食育の推進

No.17

「漁師塾」設立による漁業者支援と経営力強化

(実践的な技術の継承と専門家による経営診断)

No.18

観光連携型コンテンツの開発による魅力発信

(漁業、観光、歴史を融合した新たな漁業体験コンテンツの開発・提供)

No.19

若者向け漁業体験・フェアを通じた人材確保・育成

(キャリアモデル発信、就業フェアを通じたマッチング)

No.20

漁業を身近に感じるための水産教室等の開催

(漁業者による講話やマグロ解体ショー、児童による調理体験)

No.21

学校給食と食育プロジェクトの推進

(給食でのマグロメニュー提供拡大、食育だよりでの知識醸成)

6 KPI（取組の活動状況をみる指標）一覧

施策 番号	指標 番号	指標名	基準値 [基準年度]	中間目標値 [令和12年度]	最終目標値 [令和17年度]
1	1	産卵場・育成場の設置や種苗放流をはじめとする水産資源の回復・保全に向けた取組	2件/年 [令和7年度]	累計10件	累計20件
	2	ブルーカーボンの認証取得件数	0件	0件	累計1件
2	3	国、沖縄県、市等が提供する充実した支援メニュー（補助率が高く、補助額が大きい補助金）への申請及び採択件数	申請 － 採択 －	申請 累計15件 採択 累計5件	申請 累計30回 採択 累計10件
	4	沖縄県水産海洋技術センターの普及指導員等からの技術指導	－	累計10回	累計20回
3	5	スマート水産技術に係る勉強会等の開催	0件	累計2件	累計5件
	6	漁船の機器等の導入支援	10件/年 [令和7年度]	累計50件	累計100件
4	7	養殖の研究及び市場への試験的な流通	0件/年 [令和7年度]	0件	累計1件
	8	陸上養殖技術の確立に向けた研究支援	0件/年 [令和7年度]	0件	累計1件
5	9	スマート水産技術等を活用した新たな漁業モデルの創出	0件/年 [令和7年度]	0件	累計1件
6	10	施設及び設備の改修・更新等	0件/年 [令和7年度]	累計1件	累計3件
7	11	「泊漁港等整備基本計画」に基づく工程の進捗率	0%	50%	100%
8	12	那覇市民における「なはまぐろ」の認知度	65.8% [令和7年度]	70%	80%
	13	「なはまぐろ」の取扱店舗割合（県内）	推定 70%	80%	90%
9	14	「なはまぐろ」のコンセプト設計	－	1件	1件
	15	那覇市水揚げのマグロ単価全国比	65% [令和6年]	85%	100%
	16	那覇市1世帯（総世帯）あたりの魚介類年間消費支出額	沖縄県比 91% [令和6年]	沖縄県比 100%以上	沖縄県比 110%以上
	17	那覇市1世帯（総世帯）あたりのマグロ年間消費支出額	全国比 94% [令和6年]	全国比 100%以上	全国比 110%以上
10	18	「（仮称）なはまぐろ御物ブランド協議会」の運営管理体制の確立及び市場流通	－	1件	1件
	19	「なはまぐろ御物」の取引価格	クロマグロ 10,000円/kg メバチ 5,000円/kg	クロマグロ 15,000円/kg メバチ 10,000円/kg	クロマグロ 20,000円/kg メバチ 12,000円/kg

施策 番号	指標 番号	指標名	基準値 [基準年度]	中間目標値 [令和12年度]	最終目標値 [令和17年度]
11	20	泊漁港エリアに新規導入・設置した多言語・デジタル情報提供ツールの導入件数	－	累計5件	累計10件
	21	泊漁港エリアに来訪したインバウンド旅行者の数（年間）	推定 40万人/年	45万人/年	50万人/年
12	22	新商品の開発	－	累計2件	累計5件
	23	6次産業化	－	累計2件	累計3件
	24	給食を自園調理により提供している市内小規模小学校等への水産メニューの提供	－	累計2件	累計5件
13	25	副産物や未利用資源の活用	－	累計2件	累計5件
14	26	水産物におけるトレーサビリティシステム導入に向けた実証	0件 [令和7年度]	累計1件	累計1件
	27	那覇市の水産物を優先的に購入したいと思う割合	74% [令和6年度]	85%以上	90%以上
15	28	観光関連事業者（MICE、クルーズ船、宿泊施設等）と連携した「なはまぐろ」等のPR活動	－	累計5件	累計10件
16	29	市場内における滞在時間の増加	25分 [令和7年]	45分	60分
17	30	漁業者の技術向上に向けた「那覇漁師塾（仮）」の立ち上げ	－	累計1件	累計1件
	31	漁業者の経営力強化に向けた事業の検討及び実施	－	累計5件	累計10件
18	32	観光関連事業者との連携による新たな水産体験型コンテンツの開発	－	累計1件	累計3件
	33	水産体験型コンテンツの参加者数	－	100人/年	300人/年
19	34	就業支援フェア等によるマッチング件数	－	累計3件	累計5件
	35	新規就業に向けた漁業体験者数	－	累計150人	累計300人
	36	新規漁業就業者数	14人/年 [令和5～6年度]	累計70人	累計140人
	37	漁業就業者数	201人 [令和6年度]	221人	241人
20	38	市内の小学生を対象とした水産教室の実施後アンケート調査により、水産業への関心度が上昇した割合	－	90%以上	90%以上
21	39	「なはまぐろ」を原材料とする学校給食メニューを提供する給食施設の割合	－	50%	100%
	40	小中学校の児童・生徒における「なはまぐろ」の認知度	－	85%	95%